

花咲き山

令和2年度
飯豊町立飯豊中学校
第1学年だより
第28号
2020.10.9
文責：小松正義

教育実習生 国分つぐみさん

2週間お世話になります。

今週月曜日から、来週金曜日までの2週間、教育実習生 国分つぐみさんにお世話になります。昨年第一小学校でも実習しているの、すでに2度目の出会いの生徒もいますが、本校卒業の先輩でもある実習生から、子ども達にもいろいろな事を吸収して欲しいと願っています。

高橋宙暉（ひろき）さん（白鷗大 英語）も2学年に配属されています。2組は英語でお世話になるかもしれません。

国分つぐみさん（教科 国語 担当学級 1年1組）



山梨県都留文科大学初等教育学科4年の国分つぐみです。富士山は近いけれど見えない大学に通っています。

趣味は、料理をすることと読書をすることです。ずっと家の中で過ごすのが好きでしたが、最近はキャンプなどのアウトドアにも興味が出てきたので、チャレンジしたいなと思っています！高校まで吹奏楽をしていたので、歌や楽器などの音楽も大好きです。

実習では一年生と過ごすことが多いのですが、1日目には本当に明るく元気な学年だと感じました。いつでも率先して挨拶をしてくれますし、合唱に全力で取り組む姿も素敵です！

2週間という短い期間ですが、よろしくお願ひ致します。

来週の総合学習では、進路学習の一環として2人の実習生から、①中学校時代の夢、②教員を目指そうと思ったきっかけ、③今一番大切にしていること、④中学校時代にやっておくべきことなどなど、今に至るまでのことを、話して頂こうと考えています。



仲良しグループ。について考える

いろいろな行事を終えるごとに、生徒は大きく成長しいろいろな変化を見せてくれます。人間関係もその一つです。何かをきっかけに急に接近したり、離れたたり、それをくり返しながらより良い関係づくりをしていくのです。

1年生の様子を見ていても、初めは4つの小学校から集まって、お互いにどのような人なのか伺いながらの生活が続いていました。少しずつ分かってくると気の合う同士がグループを作っていきます。今はちょうどその時期なのかなと思います。家での会話でも同じ友達の名前が出ているのではないのでしょうか。親としては、ほっとする瞬間でもあります。仲の良い友達ができ良かったと思えるからです。

しかし、学校の中では、得てして次のようなことが起こります。

- ① グループの人といると、楽しく、気が楽なのでいつも集まってしまう。
- ② グループ内だけで楽しみを完結し、周囲が見えなくなる。
- ③ グループ内の約束が優先されて、みんなでやるべき事（学級や学年でやるべき事）がおろそかになる。当番や班の人と協力するのではなくグループ内の人と行う。
- ④ 結束が強すぎて、周りの人が関わりづらい雰囲気を作っている。

いろいろな人との交流を通して、人間そのものを太らせていく時期に、特定の人だけで生活を完結してしまうことは、本人にとっても集団にとってもプラスに作用することはありません。

仲の良いグループができた時こそ、周りの事も考えながら行動できるようになって欲しい、逆に仲の良いグループができた時こそ、安心感があるはずですから余裕を持って周囲のことを気遣える人間に成長してほしいものです。

グループの結束が強くなれば強くなるほど、①から④の方向に進んでいきます。そのグループに周囲の人は遠慮して何も言えなくなる、関わらなくなるということになると、グループが孤立してしまいます。学年も学級もギクシャクしてきます。少人数だけの世界になるので成長もありません。きっと誰も望む方向ではないはずです。

学年でも、子ども達に話をし、一緒に考えていきます。仲の良い友達が増えてきている今だからこそ、一歩踏み込んで、お子さんの様子を見守り、望ましい人間関係づくりについて同じ方向で考えて頂けるようお願いいたします。

